

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C	令和6年3月11日	
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生時に備えた対策の充実・強化					松本地域振興局	
地域重点政策	大規模地震・噴火・水害等の発生時に備えた対策の充実・強化						
実施機関	松本地域振興局総務管理課			担当課	所属	松本地域振興局総務管理課	
事業名	糸魚川ー静岡構造線断層帯等による大規模地震を想定した防災意識醸成のための事業				電話	0263-40-1903	
					E-mail	matsuchi-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	大規模災害の発生に備えた市町村防災担当者の災害対応能力向上					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨、台風、地震、火山といった大規模災害の発生懸念が年々高まる中、県民にどのようにして生命や財産を命を守る行動をとらせるべきか、地域住民の防災意識の醸成を図る必要がある。 ・住民を守るためには基礎自治体における防災対応、特に初動が肝要であり、どのように対処すべきか常にアップデートする必要がある。 ・様々な媒体がある中で、住民に向けてどのような形でどのように発信すべきかという重要度が増している。 					
	内容 (変更後の内容)	<p>大規模災害の発生に備え、自治体の担当者向けに次の学習会を開催する。</p> <p>【防災学習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時: 令和6年2月22日(木)14:00～ ○会場: 松本合同庁舎502会議室 ○講師: 山梨大学大学院総合研究部 工学域・土木環境工学系 地域防災・マネジメント研究センター 准教授 秦 康範氏 松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 地域防災科学研究所 教授 入江 さやか氏 ○演題: 「能登半島地震の被害の特徴と持続可能な防災の考え方「フェーズフリー」」(秦准教授) 「災害時の自治体の情報発信とメディア対応」(入江教授) ○対象者: 行政職員(防災、広報) 約30名 					
	事業期間	令和6年2月					
事業費	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	災害発生時における自治体の初動等対応についての学習会	自治体担当者向け学習会	54,880	講師謝金・旅費			
	合計		54,880				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	防災学習会参加者満足度(実施後アンケートによる)		90%以上	96.2%	● 達成		
					○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体の防災・広報担当者向けに、能登半島地震の状況も交えた防災学習会となったことで、管内市村だけでなく県内全域から自治体職員の参加があった(参加者数30名) <p>【成果】</p> <p>自治体担当者の意識、知識の向上、取組のヒントにつなげることができた。 (以下アンケート回答から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェーズフリーの「防災×○○」の考え方で、防災担当部署だけでなく他部署とともに何か新しい啓発の取組を考えたい ・市の防災行政に使用できるツールを学べたので活用したい ・広報担当として災害時のイメージができた ・災害時の具体的な備えにつなげていない理由と、どういった考え方で準備していくべきか理解できた ・メディア対応は災害時に関わらず参考になった 						
今後の方向性	自治体の防災担当者が直接的に学べる機会が少ないことが判明したので、来年度も引き続き自治体職員向けに実施していく。						